

札幌市立幼稚園 預かり保育 通信



発行 札幌市教育委員会

多様で
豊かな体験

一人一人の
思いを大切に

家庭との
連携

市立幼稚園では、子育ての支援として、就労されているご家庭やリフレッシュも含めご家族の用事等の際にご利用いただける預かり保育を行っています。教育時間だけでなく、預かり保育の時間も幼児期にふさわしい生活を通してお子様の成長を支えています。

このたび、幼稚園と共に日々の子育てを頑張っているご家庭の方に向けて、市立幼稚園預かり保育のエピソードをご紹介します「預かり保育通信」を作成しました。

お子様の姿を重ねながらお読みいただき、市立幼稚園の預かり保育について知っていただくとともに、子どもの見守りや関わりなど、子育ての参考にしていただけると幸いです。

預かり保育時間の素敵なエピソードを紹介！



子どもの気持ちに寄り添う

預かり保育のお迎えが遅くなると、心細くなるお子さんもいます。そんな時には、その子がやりたいことを受け入れたり、家庭と連携をとって保護者の方に手紙を書いてもらったりなど、お子さんが安心して過ごせるよう、子どもの気持ちに寄り添うことを心掛けています。



「私たちに任せて！」

春…幼稚園も預かり保育も初めての年少児が入ってきました。お母さんが迎えに来て帰りたいかなさそうな姿を見ていた年長児が、「荷物、持って行ってあげる！」と声を掛けると、気持ちを切り替えて一緒に玄関に行きました。「先生だと甘えちゃうから、私たちに任せて！」と誇らしげな様子の年長児たち。異年齢の関わりの中で、幼児同士の育ち合う姿が見られています。



「行ってみたら楽しかった！」

「利用してみたいけれど、お仕事もしていないし…」「園に預けたら、子どもが寂しがるか…」と、預かり保育の利用を躊躇する保護者の方もいらっしゃいます。園では、保護者の方の背中を押して、子どもが夢中になるような保育環境をつくりました！実際に利用した方にお話を伺うと、「子どもが『とても楽しかった』と言っていました」と教えてくれました。預かり保育を利用することで、親子それぞれの時間が充実することにも、つながっています。

預かり保育の時間に係る保育実践研究に取り組んでいます！

～事例検討やビデオカンファレンスを通して～ 研究アドバイザー：札幌国際大学 木村 彰子 教授



朝の預かり保育の時間～教育時間～教育時間後の預かり保育の時間

『仲間との関わり合い、遊びへの思いや広がり、
1日を通してどのようにつながっていくの？』

○分かったこと

預かり保育で経験したことは、教育時間や家庭の幼児の思いや学びにつながっており、子どもを中心とした生活で循環しています。様々な経験(思いをもって遊ぶこと)を通して子どもは育っていきます。

○保育者の援助について

預かり保育の時間も教育時間も園で過ごす「生活」として、保育環境をつくることが大切です。保育者は、幼児の行動には必ずその子にとって意味があると捉えて、幼児の行為を肯定的なまなざしで見守り、「自分なりに感じる思い」を大切に子どもと関わることが大切です。保育者同士の「対話」を通して、子どもとの関わりを振り返ることで、更に深くその子のことを知ることができます。



どのような遊びや生活
にしたらいいかな…



家庭と共に、肯定的なまなざしで
子どもを見守っていこう！



真剣に完成を目指す姿

6面のキューブ型玩具に挑戦。教師がヒントを伝えると、「自分でやる！」と根気よく続け、1面が揃うと嬉しそうに報告してくれました。自信をつけたようで、3面までできるようになりました。一人でじっくりやりたいことをできる時間を大切にしています。この経験は、心の育ちにつながっています。

「作った剣で家ができた！」

預かり保育時間の経験のつながりや遊びを通した学びに注目し、預かり保育時間の保育の場所や教材等、環境の見直しをしました。新聞を細く巻けるようになり、預かり保育でも思う存分に続きができるようになって大満足。山盛りの剣を使って、今度は家を作ることになりました。じっくり遊ぶ中で、「こんな風に組んだら倒れにくいよ！」など、試行錯誤しながら楽しんでいきます。



預かり保育のエピソードには、子どもたちを褒めてあげることができるポイントがたくさんありました。子育てで毎日忙しいと思いますが、幼稚園と共にお子さんの素敵なおところをたくさん見付けて、褒めてあげたいですね。

「市立幼稚園預かり保育通信」では、今後も預かり保育のエピソードを中心に紹介しながら、子育てを応援していきたいと思っております。



さっぽろ市
02-S02-24-2109
R6-2-1400